

平成27年度関東東海北陸農業試験研究推進会議  
関東東海・土壌肥料部会及び土壌肥料研究会 開催要領

部会長:農研機構 中央農業総合研究センター 土壌肥料研究領域長 加藤 直人

1. 開催時期:11月17日(火)13:00から11月18日(水)11:00

2. 開催場所:農研機構 中央農業総合研究センター第一研究本館1階大会議室

3. 議事:

3-1 土壌肥料部会推進会議 (11月17日)

1) 重点検討事項「転作大豆の低収要因と対策」

「大豆多収阻害要因の診断法及び対策技術の開発プロジェクトの概要」

話題提供者 農研機構 中央農業総合研究センター 土壌肥料研究領域 新良 力也

「航空写真を用いた大規模水田輪作地帯における地カムラの把握とその要因」

話題提供者 農研機構 中央農業総合研究センター 土壌肥料研究領域 瀧山 律子

2) 地域研究・普及連絡会議で取り上げられた国が推進すべき技術的課題に関する検討

3) 都県・国立研究開発法人の研究成果の相互の紹介

部会としての「イチオン」を検討(最新農業技術・品種2016の推薦候補)

4) 分野における研究情勢に関する意見交換

5) その他

3-2 土壌肥料部会研究会

「関東東海都県の若手・中堅研究者が推進する今日的課題」 (11月18日)

コーディネーター:農研機構 中央農業総合研究センター 土壌肥料研究領域 井原 啓貴、瀧山 律子

1) ブルーベリー種間雑種育成系統の解析

東京都農林総合研究センター 金牧 彩

2) 家畜ふん堆肥の長期連年施用によるモモ園の土壌養分および果実生産への影響

山梨県果樹試験場 加藤 治

3) 牛ふん堆肥施用によるリン酸減肥技術の開発

栃木県農業試験場 野崎 律子

4) 緑肥作物を活用した後作野菜のリン酸減肥技術開発

千葉県農林総合研究センター 塚本 崇志

5) 米麦二毛作地帯における小麦枯れ熟れ様障害の発生要因について

埼玉県農業技術研究センター 鎌田 淳

6) 湿害回避を中心とした葉野菜類の生産安定技術の開発

長野県野菜花き試験場 齋藤 龍司

7) 青ネギの葉色と日持ち性が低下する要因

三重県農業研究所 服部 侑

8) 施肥条件が農産物収穫後の品質保持に及ぼす影響

神奈川県農業技術センター 曾我 綾香

4. 参集範囲:

農林水産省 農林水産技術会議事務局、消費・安全局、生産局、関東農政局、東海農政局、関東東海地域都県農業関係試験研究機関、普及機関及び行政部局関係者、農業環境技術研究所、農林水産消費安全技術センター、農研機構(野菜茶業研究所、畜産草地研究所、果樹研究所、作物研究所、中央農業総合研究センター)、その他部会長が必要と認めた者

5. 連絡先

部会事務局

農研機構 中央農業総合研究センター 土壌肥料研究領域 浦嶋 泰文

Tel:029-838-8828、FAX:029-838-8837、E-mail:yura@affrc.go.jp

研究会事務局

農研機構 中央農業総合研究センター 土壌肥料研究領域 井原 啓貴

Tel:029-838-8829、FAX:029-838-8837、E-mail:iharaca@affrc.go.jp

6. その他

詳細については、部会事務局より別途連絡する。